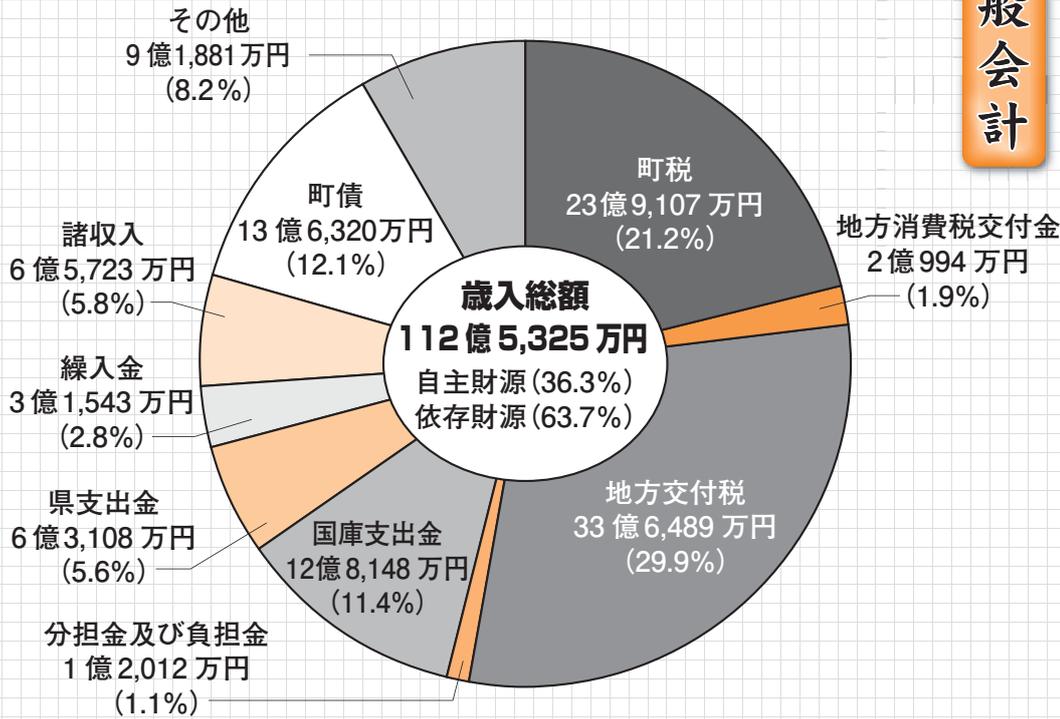


平成23年度

一般会計

決算

歳入



一般会計は、基本的な行政サービスに使われるもので、町のお金の流れの中心となるものです。決算額は、歳入総額112億5,325万円に対し、歳出総額108億1,028万円となり、歳入歳出の差し引き額は4億4,297万円でした。平成22年度決算と比べてみると、歳入で8億76万円、歳出で9億141万円と、それぞれ増額となっています。

■町に入ってきたお金（歳入）

決算額		一般家庭の家計簿に例えると…	
町税や使用料・手数料など	40億8,421万円	給料・パート収入・預金からの引き出しなど	181万4,700円
町債発行	13億6,320万円	ローン借り入れ	60万5,700円
国・県支出金など	58億584万円	親からの援助など	257万9,600円
合計	112億5,325万円	合計	500万円

給料や預金からの引き出しなどを「自主財源」といい、ローン借り入れや親からの援助を「依存財源」といいます。自主財源の割合が高いほうがやりくりしやすいのです。

横芝光町では、およそ36%が自主財源、64%が依存財源になっています。車の購入や住宅の増改築（町では道路や学校の増改築）など高額なものは、計画的・効率的に借り入れを行い返済していきます。

財政状況の公表

「決算」とは、1年間に出入りしたお金を集計したもので、みなさんが納めた税金や国・県からの補助金などをもとに、どのような事業が行われたかを示すものです。

今回は、町の1年間のあゆみともいえる決算を、「家計簿」におきかえ、町に入ってきたお金を500万円に縮小してお知らせします。